

## 令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	いっぱいんしゃだんほうじんとうきょうこうせいういんどおーけすとら				
	制作団体名	一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ				
	代表者職・氏名	理事長 勝川本久		団体ウェブサイトURL <a href="https://www.tkwo.jp/">https://www.tkwo.jp/</a>		
	制作団体所在地	〒	166-0012	最寄駅(バス停) 方南町		
		東京都杉並区和田2-7-1 普門メディアセンター1階				
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/>	※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
	ふりがな	とうきょうこうせいういんどおーけすとら				
	公演団体名	東京佼成ウインドオーケストラ				
	代表者職・氏名	理事長 勝川本久		団体ウェブサイトURL <a href="https://www.tkwo.jp/">https://www.tkwo.jp/</a>		
	公演団体所在地	〒	166-0012	最寄駅(バス停) 方南町		

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。</p> <p>2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、首席客演指揮者に飯森範親を擁している。</p> <p>吹奏楽=マーチというイメージの強かった1970年代から現在まで、当楽団育ての親であるフレデリック・フェネルの提唱した&lt;ウインド・アンサンブル&gt;を啓蒙するため、積極的に国内外の有名指揮者と共に演している。山田一雄、岩城宏之、ラドミル・エリュカ、秋山和慶、飯守泰次郎、井上道義、沼尻竜典、川瀬賢太郎、ユベール・スダーン、大植英次、カーチュン・ウォンなどと共に演。</p> <p>ポップスディレクターの藤野浩一とは「エンタテインメント・コンサート」を開催。森山良子、岩崎宏美、八神純子、松崎しげる、布施明、といった歌唱力に定評のあるゲストを招き、多くの聴衆を魅了している。</p> <p>近年、新しい試みとして、ゲーム・アニメ、映画などの音楽を楽しめるコンサートをキョードー東京などと開催。『ドラゴンクエスト』『エヴァンゲリオン』『僕のヒーローアカデミア』など幅広いファンから支持を得ている。</p> <p>テレビラジオへの出演も数多い。近年ではテレビ朝日系列「題名のない音楽会」、NHK「ららら♪クラシック」、NHK-FM「吹奏楽のひびき」などに出演。また2013年以来、NHK「明日へ」東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」プロジェクトに協力している。そのほか、毎年正月恒例「箱根駅伝」のテーマ曲の演奏は当楽団によるものであり、レース中継に彩りを添えている。</p> <p>CDなどのレコーディングも積極的に行っている。最近では日本コロムビア、ユニバーサルミュージック、キングレコード、ビクターエンタテインメント、エイベックス・クラシックス、ポニーキャニオン、ブレーン、フォンティック、Amazon Recordsの各社からリリース。2013年に引き続き、2015年、2016年もレコード・アカデミー賞を受賞した。</p>
	学校等における公演実績	<p>創立当初より弊楽団地元の杉並区に限らず、全国各地の要請に応じ、学校公演をほぼ毎年開催。</p> <p>栃木県立真岡高等学校・栃木県立真岡女子高等学校・加藤学園高等学校・青藍泰斗高等学校・桐蔭学園・本郷学園・市川学園・高木学園女子高等学校(英理女子学院高等学校)聖学院や足利市内小中学校・長野県松本市内小学校(3週間30ステージ)等。</p> <p>その他にも、杉並区内小学校などで開催。</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>特別支援学校へも大きな編成に限らず、20名ほどのアンサンブル公演など、積極的に開催。</p> <p>小平特別支援学校、盛岡少年刑務所、下北養護学校、生の松原特別支援校、筑紫少女苑、慈光園、松本養護学校、松本盲学校、杉並区立済美養護学校、中原支援学校等。</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有			
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=fbDp75-kFY">https://www.youtube.com/watch?v=fbDp75-kFY</a>			
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

別添

なし

【公演団体名

東京佼成ウインドオーケストラ

】

対象	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	小学生(中学年)	<input type="radio"/>
	小学生(高学年)	<input type="radio"/>	中学生	<input type="radio"/>
企画名	音楽の全てを体感！共感！大作戦！			
企画のねらい	吹奏楽のことを知らない人でも、プログラム全体を通して、吹奏楽の歴史や各楽器の特色を知ることができます。ただ演奏を聞くだけではなく、オーケストラの演奏にあわせてリズムで共演したり、歌を歌ったり、プロの演奏家と一緒に演奏することで、身体を使って音楽を体感することができ、オーケストラと共に演奏する楽しさを分かち合うことができます。			
演目概要・演目選択理由	<p>『音楽を体感！』          ルネサンス期のガブリエリから大作曲家A.リードまで、吹奏楽の歴史とともに、楽器の進化や楽曲の発展、多様な音楽を伝えます。          また、オーケストラに近い距離で聞くこと、見ることができるために、奏者の細かい息遣いやアイコンタクトなども体感することができます。</p> <p>『音楽を共感！』          共演コーナーでは声や身体、楽器を使ってオーケストラとどんな事が出来るのか挑戦、冒険する気持ちを伝えたいと考えます。          (※以下3つより2つを選択)</p> <p>①全員合唱:声と管楽器、同じ息を使った響きの調和に挑みます。オリジナル合唱曲を作成する事も可能です。          ②リズム競演:オーケストラ伴奏で心身共に弾むリズムで競演。          ③吹奏楽部・金管バンド共演:吹奏楽部・金管バンドと共に演奏も可能。プロの演奏家がサポートしながら児童・生徒達が主役となって演奏披露します。</p> <p>高度な演奏技術の披露は勿論の事、吹奏楽による音楽の魅力を存分に楽しめるプログラムを選択・構成しました。          音楽の歴史を知ることで、楽器や楽曲の発展に興味を持ち、「舞台芸術音楽の吹奏楽」を知るきっかけとなると考えます。          指揮者による、音楽の歴史をはじめとした楽曲の紹介や、各楽器奏者によるオリジナル溢れる楽器紹介も組み込むことで、「聴かされている音楽」ではなく、「体感する音楽」さらに「共感する音楽」へ知識と興味をひとつ上の段階へ導くことを意図しています。          また、オーケストラひな壇を持参して設営し、ホールのように後方座席からも見やすくするなど、舞台以外の空間をつかった演出も工夫を凝らすことで、立体感のある親しみ易い公演をお届けします。          吹奏楽の名曲とも呼ばれているA.リードの「アルメニア・ダンス パートI」を演奏することで、プログラムの最後に吹奏楽のオリジナル曲を聴いていただきます。</p>			
児童・生徒の参加または体験の形態	<p>共演コーナーとして下記の内容を実施いたします。(※以下3つより2つを選択)</p> <p>①全員合唱:オーケストラ伴奏で歌います。          普段ピアノ伴奏で歌っている曲が、オーケストラ伴奏になることで、ダイナミックなサウンドを体験していただけます。また、オリジナル合唱曲を作成する事も可能です。オリジナル合唱曲では、一般的な「完成された曲を歌う・聞く」という受け身の姿勢ではなく、発想力や想像力の育成、芸術鑑賞能力の向上も目指します。</p> <p>②リズム競演:オーケストラ伴奏にリズム遊びをしながら演奏します。          楽しげなリズムに導かれ、掛け声や手拍子でオーケストラと一緒にラテンのリズムを体感し、自発性を促進していきます。</p> <p>③吹奏楽部・金管バンド共演:各学校のご希望の曲を、合同演奏します。          オーケストラの脇ではなく、ひとりひとり演奏家の間に入り演奏することで、より近くで「本物の音楽」を体感していただけます。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人數目安	800名以内(※会場の大きさによる)	
		鑑賞人數目安	800名以内(※会場の大きさによる)	

本公司演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>①【金管楽器の原点】ピアノとフルテのソナタ (G. ガブリエリ)</p> <p>②【木管楽器の原点】セレナーデ第10番「グラン・パルティータ」より (W. A. モーツアルト)</p> <p>③♪管の音楽 第2番 (L.V.ベートーヴェン)</p> <p>④ファンファーレとアレグロ (C. ウィリアムズ)</p> <p>⑤楽器紹介</p> <p>⑥アニー・ローリー (J. D. スコット) ※アルトサックスソロ</p> <p>⑦【共演コーナー】※以下3つから2つを選択</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員合唱:「オリジナル合唱曲」「翼をください」から1曲選択</li> <li>・リズム競演:「ラテン曲(ブラジル)」でリズム遊び</li> <li>・吹奏楽部・金管・バンド共演:各学校からの希望曲</li> </ul> <p>⑧アルメニアン・ダンス パートI (A.リード) &lt;アンコール&gt; 校歌</p>		
	公演時間 80 分		
出演者	<p>指揮者:1名 司会者:1名 東京佼成ウインドオーケストラ:49名</p>		
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	指揮:大井剛史(常任指揮者)・堀俊輔・和田一樹・田中雄樹を予定。		
本公司 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 51 名 スタッフ: 7 名 合 計: 58 名	運搬	積載量: 4 t 車 長: 9 m 台 数: 1 台
本公司 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込 到着 9時	無 仕込 9時～11時	前日仕込所要時間 上演 13時半～15時 内休憩 0分 撤去 15時～17時 退出 17時
※本公司演時間の目安は、概ね2時限分程度です。			
本公司 実施可能日数 目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月 15日 10月 12日	7月 13日 11月 10日	8月 18日 12月 10日
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計 103日

本公演・ワークショップの内容

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡



(図1)

体育館フロアとステージを使用し設置した様子。

舞台設置に必要な広さ  
横18m以上・奥行き10m以上



(図2)

舞台横からの様子



(図3)

楽器紹介の際に、楽器の音を少しでも聴いていただくため子どもたちの近くで演奏する様子

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当なし	該当コンテンツ名	許諾確認状況
	該当事項がある場合	権利者名			

別添

なし

【公演団体名 東京佼成ウインドオーケストラ】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	<p>(※以下3つから2つを選択)</p> <p>①合唱指導:いつも慣れ親しんでいるピアノ伴奏とは異なる、発声法やアンサンブルの作り方をイメージし、本公演での作品完成に挑みます。その過程で音楽を創作・創造する喜びを育みます。</p> <p>②リズム指導:リズムのやり取りの中で、相手と合わせたり、わざとずらしたりする事を体感。合わせることによってイキイキとする感覚を味わいます。</p> <p>③吹奏楽部・金管バンド指導:本公演で必要なイメージを事前説明し、ウインドオーケストラとの合同演奏に向かって音楽を作り上げコンサート当日に成果の実感が出来るようにつとめます。</p>		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	800名以内(※会場の大きさによる)
	<p><b>【吹奏楽とは?】</b> 吹奏楽とは何なのか、吹奏楽を知らない人でもわかるように丁寧に説明を行います。 吹奏楽について知っていただききっかけを作ります。</p> <p><b>【共演曲指導】</b> (※以下3つから2つを選択)</p> <p>①合唱指導:プロの音楽家によるピアノ伴奏で、本公演のオーケストラ伴奏を想定した高度な指導を行う。</p> <p>②リズム指導:プロの音楽家によるピアノ伴奏でリズムを習得し、より専門的な指導を行う。</p> <p>③吹奏楽部・金管バンド部指導:初心者の為の基本的な練習から、応用的な演奏技術まで指導を行う。 合奏でのポイントや音楽の楽しみを体感してもらう。</p> <p><b>【ミニコンサート】</b> 演奏者3名(木管楽器、金管楽器、打楽器)によるミニコンサートを行います。 楽器の音の出る仕組みや楽器の種類について、クイズを交えつつ楽しみながら学べる内容です。</p> <p><b>【楽器体験コーナー】</b> 演奏者3名の楽器を吹いたり叩いたり、どんな吹き方をしているのか、目で見て近くで聞いて体感することができます。</p> <p><b>【質問コーナー】</b> 楽器の練習方法や上手くなる秘訣、どのような方法で音楽家になったのか、など、演奏家がどんな質問でもお答えします。子供たちの質問に真摯に向き合います。</p>			
	その他ワークショップに関する特記事項等	<p>内容は変更無く実施可能。 変更が必要な場合は柔軟に対応可能。 学校側の運営に最大限協力し学校側の意図・ねらいが達成するように実施。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

別添

なし

【公演団体名 東京佼成ウインドオーケストラ】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。				
	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。				
	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。				
	上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。				
	任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。				
	詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただることになります。				
	なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。				

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
	会場の設置階の制限	2F以上応相談	主幹引き込み電源容量	10 A以上	
	舞台設置面積	間口	m	奥行	m
		高さ	m		
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	条件が合えば可
	搬入間口の広さ	幅	2 m	高さ	2 m
	遮光の要否	5割程度必要	縫帳の要否	あれば使用する可能性がある	
	ピアノの使用について	必ず使用する	ピアノを使用する場合の設置位置の指定	あり	
			ピアノを使用しない場合の移動の要否	要	
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	20 m以内	
	搬入車両の種類	中型トラック	台数	1 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	2.5 m	車長	9 m
	備考	ワークショップ時はピアノ使用、本公演時はピアノ不使用			

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

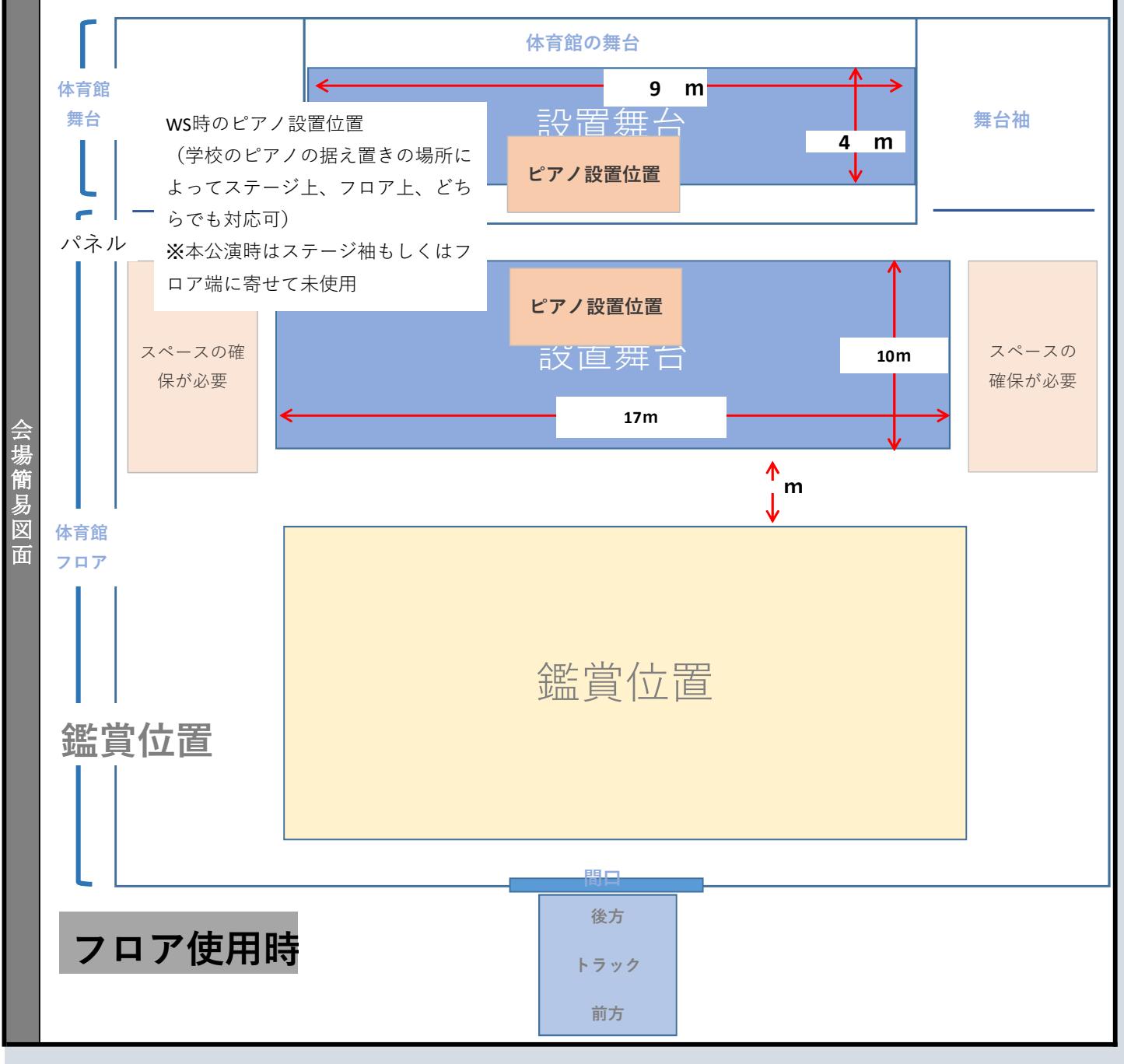
学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否	要			
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)				

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。 なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。			
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
	ワークショップ				
本公演					
本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	
	2	
3		

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名】 東京佼成ウインドオーケストラ

】

## 【本事業を通じて実現したいこと】

平成25年度より毎年、本事業公演に参加させて頂いた経験を基に、令和8年度も内容の更なる充実を計り、本事業に是非取り組ませて頂きたいと考えております。

管弦楽団は創立以来、活動指針の大きな柱として青少年の情操教育への貢献を掲げております。実際に吹奏楽（ウインドオーケストラ）の先駆けとして全国1万団体（全日本吹奏楽連盟調べ）を超える吹奏楽加盟団体の牽引的存在として今日を迎えております。

しかし、その多くの児童・生徒さんたちは「本物の吹奏楽」を聴く機会に恵まれているとは言えません。ネット環境の発展や新型コロナウイルス感染症拡大により、演奏動画の配信が増えてきましたが、プロの演奏が身近になる一方で、「本物の吹奏楽」と同じ空間で聴くコンサートは、よりハードルが高く、遠い存在となっています。

この時代だからこそ、シンフォニーオーケストラと同様に厳しいオーディションによって選りすぐられた奏者で構成される「東京佼成ウインドオーケストラ」の演奏は、今までにない音楽体験となります。勿論吹奏楽部員以外の人達には「友達が活動している吹奏楽」といったイメージから「舞台芸術音楽の吹奏楽」として十分なパフォーマンスをお届けいたします。

弦楽器よりも身近にあり、手に取り易い管楽器・打楽器による芸術性豊かな音楽・ステージを作り上げる事、さらに声を使った感動的な時間を児童・生徒さんと共に共有出来る事を願い申請いたします。

## 本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

ワークショップでは、本公演のみでは難しい児童・生徒さんたちとの距離感を縮めます。楽団員の細かなアドバイスを受けながら、音が出る仕組みを体感してもらいます。

公演ではワークショップに参加した楽団員を中心に、児童・生徒さんをリードするなど、オーケストラと客席が一体となる公演を創ります。

貴事業による公演経験豊富な「指揮者 堀俊輔氏」に当初から参画をいただき演奏内容にとどまらず事業全般にわたって助言をいただいて参りました。

貴事業経験者の意見を参考に、より有意義で良質な演奏会を創出して参りたいと考えております。尚実施に際しては、学校側の事情を最優先に全ての制作事項(移動・宿泊・公演内容・公演時間・ワークショップの内容等)を調整し対応させていただきます。

本事業への応募理由等

事業を適切かつ  
円滑に実施するための  
工夫

【学校との連絡調整について】

本事業の訪問校が決定となったタイミングでご担当の先生には、「実施計画書」をお渡ししております。こちらには、ワークショップ・本公演までの流れや共演内容、ワークショップ・本公演までにご準備いただきたいもの等を記載しており、何かあれば実施計画書を確認していただければ問題ないように作成をしております。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

司会者を入れることにより、対象年齢に合わせて原稿を柔軟に対応することが可能です。また、ワークショップ時には小学生と中学生で、演奏曲目を変更しております。小学生は目で見て楽しめる内容(クラリネットを分解して、だんだん小さくなっていく様子を見ていただく等)にしたり、中学生にはより一層本格的なソロの演奏をお届けしております。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

本公演での共演内容は、本公演実施後の学びにも通じていくと考えております。オーケストラの伴奏とともに歌を歌ったり、手拍子で共演をしたり、オーケストラのメンバーと一緒に演奏をするということは、またないかけがえのない経験となります。合唱曲の「翼をください」は音楽の事業でも取り組まれることが多く、歌を歌う際に気を付けるポイント等は、今後別の合唱曲を練習する際にも生かすことができます。また、「ブラジル」の手拍子ではサンバのリズムを学ぶことができ、リズム感を養うことができます。公演時に体験した成功経験は、今後音楽を知っていくきっかけとなり、音楽に対する取り組みについて考える機会を創出いたします。